



CARDNET接続条件書  
(ダイレクト接続編)  
別冊 デビットカード拡張仕様

第1.3版

株式会社日本カードネットワーク

2020年3月

## 修正履歴

(1/3)

変更章	変更内容	変更日
<b>暫定版→暫定1999年8月27日版へ改定</b>		1999年8月
はじめに	“CARDNET接続手順書”→“CARDNET接続条件書”	1999年7月
1. 3. 1	“2. 伝票印字”的説明にて、“なお、これらの項目は、カードエンコード内容と必ず一致するとは限らないため、～”の記述を追加	
4. 3. 2	“BIT2：会員番号”的記述を追加。(以降の項番を1ずつ繰り下げる) ・JIS IIの会員番号にスペースが存在する場合の条件を追加 ・郵貯共用カードの場合の条件を追加	
3. 2. 1	“BIT22 POSデータコード”的属性の間違い修正(n12→an12)	
3. 2. 2	“BIT22 POSデータコード”的属性の間違い修正(n12→an12)	
4. 3. 4	“BIT22：POSデータコード”的記述を追加。(以降の項番を1ずつ繰り下げる) ・EC(電子商取引)の場合 1、7桁目=Y ・磁気ストライプ、変換処理適用の場合(IATA→TRACK2) 7桁目=Z	
4. 3. 8	“BIT59：端末出力データ”的表4-5サブフィールド構成及び表4-6 サブフィールド設定方法(JCB-DEBIT)の内容差し替え	
1. 2. 1	デビット決済網の選択を加盟店センターから株式会社日本カードネットワークに変更 それに伴い本文、図1-2を変更	
1. 3. 1	“1. ③障害電文処理日付”及び“4. 利用可能金額”を追加	
1. 3. 2	暗号化方法を“1. JIS IIストライプ情報読み込み時”、“2. JIS Iストライプ情報読み込み時”に分けて記述に変更	
4. 1. 1	本項を追加	1999年8月
4. 1. 3	加盟店契約会社コードの設定値を要求電文送信時“3J02100”、応答電文送信時“デビット決済網のセンターID”に変更	
4. 2. 2	本項を追加	
4. 3. 7	“②本手順での規定”的説明文3行目、“デビットカード～”の記述変更	
4. 3. 9	本項を追加	
4. 3. 6	“表4-5 サブフィールド構成”的“CCT取引”的“加盟店名”“anp23”及び“所在都市名”“anp14”内容を変更	
<b>暫定1999年8月27日版→暫定1999年9月8日版へ改定</b>		
1. 2. 2	“表1-2 仕向側システム集計方法”を追加	1999年9月
4. 1. 1	J-DEBITのデビット決済網のセンターIDを“9D009000000”から“9D900000000”に変更	
4. 1. 3	J-DEBITのデビット決済網のセンターIDを“9D009000000”から“9D900000000”に変更	

## 修正履歴

(2/3)

変更章	変更内容	変更日
<b>暫定1999年9月8日版→暫定1999年9月10日版へ改定</b>		
1. 2. 2	表1-2 仕向側システム集計方法の1420&1430（元要求が1100番台）のプロセシングコードに”310000”を追加	
1. 2. 2	表1-3 被仕向側システム集計方法を追加	
1. 3. 1	3. クリアリング ③障害電文処理日付 を削除	
1. 3. 2	「1. JIS I ストライプ情報読み込み時」の内容に暗証番号入力を省略した場合の記述を追加。	
3. 2. 1	“BIT62 個社使用予約域”的属性を”ans”→”b”に変更（誤記修正）	
3. 2. 1	“BIT28 精査日”、“BIT30 オリジナル金額”および“BIT60 国内使用予約域”を追加	
3. 2. 2	“BIT30 オリジナル金額”を追加	
3. 2. 3	障害取消アドバイス＜対デビットカード残高確認＞を追加	
4. 1. 1	・センター間取引とオンライン端末取引に分けて記述。 ・JCB-DEBITのセンターIDを追加。	
4. 1. 3	・要求電文送信時以外の設定値を明記。 ・JCB-DEBITのセンターIDを追加。	
4. 2. 2	コード値の記述を 11 : オンライン端末取引 21 : センター間取引 に変更	
4. 3	“会員番号”、“POSデータコード”を追加。	
4. 3. 4	桁7 7～Yの記述を7～Xへ誤記修正 併せて、”CCT取引”→”オンライン端末取引”に記述変更	
4. 3. 8	BIT59: 端末出力データ 属性／桁数を変更 JIS8, ans..137 MAX150バイト, LLLVARを JIS8, ans <u>147</u> 150バイト, LLLVAR に修正	
4. 3. 8	BIT59: 端末出力データ サブフィールド属性／桁数を変更 ・全項目の属性を”anpまたはn”から”ans”に変更 ・デビット種別の設定内容を”略称”から”センターID”に変更し、桁数を”8バイト”から”11バイト”に変更 ・引落日の次に予備（7バイト）を追加	
4. 3. 8	”JCB-DEBIT利用時”的記述を追加。	
4. 3. 9	”取消/返品区分”から”返品：“2””を削除。	
<b>暫定1999年9月10日版→暫定1999年9月13日版へ改定</b>		
4. 3. 8	”表4-6”及び”表4-7”的下に”注”を追加	1999年10月

## 修正履歴

(3/3)

変更章	変更内容	変更日
<b>暫定1999年9月10日版→暫定2000年1月27日版へ改定</b>		
4. 3. 6	「BIT37：リトリー・バルリ・ファレンスナンバー」の定義を追加	2000年1月
4. 3. 9	表4-6 サブフィールド構成の 下から2段目"センタ識別番号"を追加	
4. 3. 9	表4-7 サブフィールド設定方法（J-DEBIT）の 下から6段目及び8段目の"予備"について、設定内容を"スペース" から"ALL"0"に変更	
4. 3. 9	サブフィールドに"センタ識別番号"を追加	
<b>暫定2000年1月27日版→別冊 第1. 0版へ改定</b>		
本書の位置 づけ	記述内容を変更	2000年3月
1. 1	J-Debitの説明として、日本デビットカード推進協議会の運営する デビットである旨補足。	
5.	各種識別仕様の章を追加し、国内レスポンスコード設定基準に関する記述を追加。	
4. 1. 1	JCBデビットのセンターIDを削除。	
4. 1. 3	JCBデビットのセンターIDを削除。	
4. 3. 9	表4-8、表4-9（JCBデビットのサブフィールド設定方法） の記述を削除。	
<b>第1. 0版 → 第1. 1版へ改定</b>		
4. 3. 2	②b) 郵貯共用カードに関する仕様は、デビット取引の場合のみである事を補記。	2000年9月
4. 3. 2	②c) 電文仕様上、マニュアル入力取引は無いため、マニュアル入力時の記述を削除。	
<b>第1. 1版 → 第1. 2版へ改定</b>		
4. 3. 7	デビット取引対応として、注1、表4-6を追加。	2001年1月
<b>第1. 2版 → 第1. 3版へ改定</b>		
本編	フォーマット統一、誤記修正	2020年3月

## 目 次

はじめに

本書の位置づけ

第1章 デビット取引電文拡張	1
1. 1 センター間接続でのデビット取引電文の扱い	1
1. 1. 1 加盟店センターとCARDNETセンター間の手順	1
1. 1. 2 CARDNETセンターとカード発行会社センター間の手順	1
1. 2 CN手順でのデビット取引電文	2
1. 2. 1 デビット識別方法とデビット決済網選択	2
1. 2. 2 オンライン精査	3
1. 3 J-Debitサポート仕様	5
1. 3. 1 CAFIS電文データ部9-3-1対応	5
1. 3. 2 日本デビットカード推進協議会指定スクランブル方式への対応	6
第2章 その他の拡張	7
第3章 電文仕様の拡張	8
3. 1 バージョン管理	8
3. 2 電文定義追加分	8
3. 2. 1 デビット残高確認 <暗証番号入力あり> D100/D110	8
3. 2. 2 デビット売上 <暗証番号入力あり> D200/D210	9
3. 2. 3 障害取消アドバイス<対デビット残高確認> D420,D421/D430	10
第4章 電文項目拡張	12
4. 1 共通制御ヘッダー	12
4. 1. 1 差出センターID	12
4. 1. 2 宛先センターID	13
4. 1. 3 加盟店契約会社コード	14
4. 2 業務共通ヘッダー	15
4. 2. 1 電文種別コード	15
4. 2. 2 仕向区分	16
4. 3 BODY部	17
4. 3. 1 MTI(Message Type ID)	18
4. 3. 2 BIT2:会員番号	19
4. 3. 3 BIT3:プロセシングコード	20
4. 3. 4 BIT22:POSデータコード	21
4. 3. 5 BIT24:ファンクションコード	24
4. 3. 6 BIT37:リトリーバルリファレンスナンバー	25
4. 3. 7 BIT43:加盟店名／所在地	26
4. 3. 8 BIT52:入力暗証番号	27
4. 3. 9 BIT59:端末出力データ	28
4. 3. 10 BIT60:国内使用予約域	30
4. 3. 11 BIT62:個社使用予約域	32
第5章 各種識別仕様	33
5. 1 エラーコード設定基準	33
5. 1. 1 国内レスポンスコード設定基準	33

## はじめに

本書は C A R D N E T センターと接続する加盟店センター及びカード発行会社センターが、デビットカードを取り扱う場合に必要となる、C A R D N E T 手順の変更・追加内容について記述したものである。

従って、本書に記述されていない内容については、「C A R D N E T 接続条件書（ダイレクト接続編）」の内容に準拠する。

関連事項については、次頁に記載している別添の付隨資料を参照の事。

## 本書の位置づけ

書類名	内容
CARDNET接続条件書 (ダイレクト接続編)	他センターを経由せずに、CARDNETセンターと直接接続する際の手順等に関するシステム仕様書
●手順拡張関連の資料	
CARDNET接続条件書 (ダイレクト接続編) 別冊 デビットカード拡張仕様	CARDNETセンターとダイレクト接続するセンターがデビットカードを取り扱う場合の手順等に関するシステム仕様書

第1章 デビット取引電文拡張

本章では、CARDNET手順（以下CN手順と示す）でのデビット取引電文サポートに対する拡張項目を定義する。

## 1. 1 センター間接続でのデビット取引電文の扱い

株式会社日本カードネットワークは、CΝ手順のデビット取引対応として、各種のデビット決済網への接続手順を加盟店センター（仕向センター）に提供する。

日本デビットカード推進協議会の運営するデビット（以下J-Debitと示す）以外のデビット（以下その他デビットと示す）においては、カード発行会社センター（被仕向センター）に対してもCN手順によるデビット取引をサポートする。

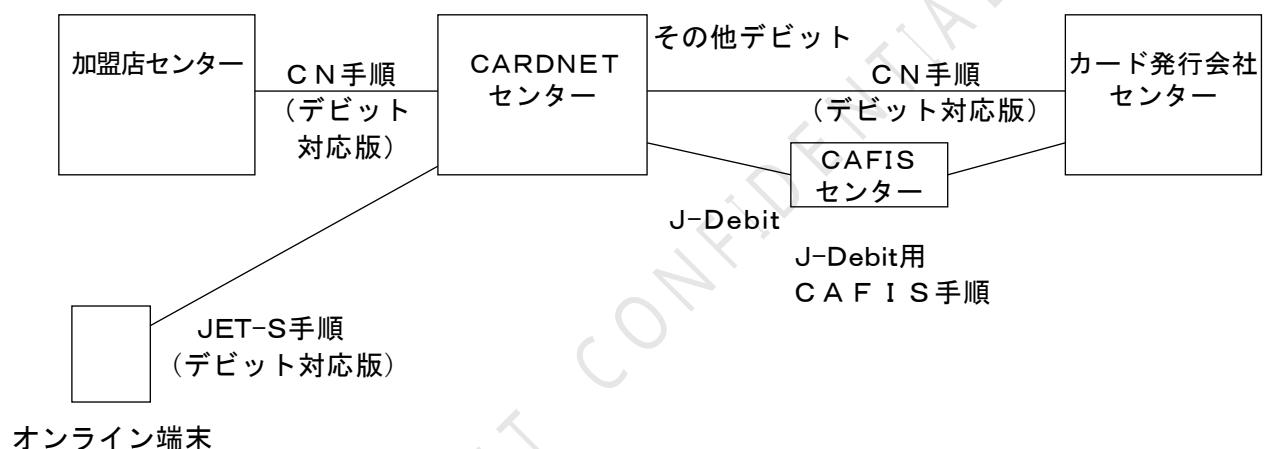


図 1-1 デビット取引のネットワークと接続手順

### 1. 1. 1 加盟店センターとCARDNETセンター間の手順

すべてのデビット取引において、CN手順（デビット対応版）を使用する。

### 1. 1. 2 CARDNETセンターとカード発行会社センター間の手順

デビット取引においては、CARDNETセンターとカード発行会社センターとの接続は、デビット決済網を経由しての接続となる。

J-Debit カード発行会社との接続はすべてCAFIS経由接続となる。

CARDNETセンターは、CAFISセンターとJ-Debit用CAFIS手順で接続する。

その他デビット：C/N手順（デビット対応版）を原則とする。

但し、CAFISクレジット手順、または銀行POS手順での接続も個別に対応する。

## 1. 2 CN手順でのデビット取引電文

CN手順では、デビット取引を業務共通ヘッダーの「電文種別コード（上一桁）」に“D”を設定することで識別する。

すべてのデビット取引は、表1-1に示す電文種別コード、MTI、プロセシングコードの組み合わせにより識別する。

表1-1 デビット取引電文

取引種別	電文種別コード	MTI	プロセシングコード	備考
デビット売上要求	D200	1200	000000	
デビット残高確認	D100	1100	310000	
デビット売上取消要求	D200	1200	200000	
デビット障害取消アドバイス	D420(D421)	1420(1421)	元要求電文と同じ	

### 1. 2. 1 デビット識別方法とデビット決済網選択

1. デビット取引を表す識別として、加盟店センターは業務共通ヘッダーの電文種別コードにDXXXをセットする。
2. デビット決済網の選択は、CARDNETセンターにてJIS I 第2トラック情報 (BIT35) またはJIS II トラック情報 (BIT47) から行う。

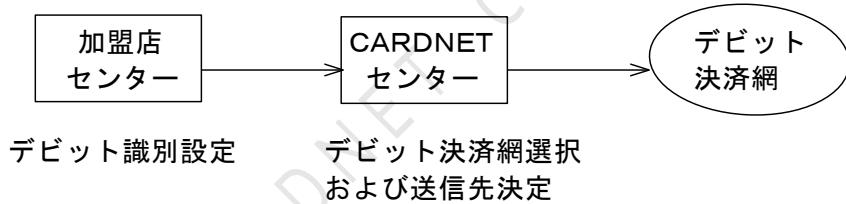


図1-2 デビット決済網の判定・選択

## 1. 2. 2 オンライン精査

デビット取引の売上電文精査は、クレジット取引の売上電文と合算して行い、デビット取引だけを別にして精査対象とはしない。

オンライン精査での各カウンター項目単位の集計方法は、表 1－2 および表 1－3 の通り。

表 1－2 仕向側システム集計方法

MTI	プロセシングコード	アクションコード	対象カウンター項目		
			BIT	名称	操作
1100&1110 1120&1130	000000 200000	すべて	81	オーソリ件数	件数加算
1100&1110 1120&1130	310000 360000	すべて	80	照会件数	件数加算
1200&1210	000000	000 タイムアウト	76 88 97	売上件数 売上金額 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額減算
		上記以外	76	売上件数	件数加算
		200000	000 タイムアウト	74 86 97	売上取消/返品件数 売上取消/返品金額 精査合計金額
			上記以外	74	売上取消/返品件数
			76 88 97	売上件数 売上金額 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額減算
			74 86 97	売上取消/返品件数 売上取消/返品金額 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額加算
1220&1230	000000	すべて	76 88 97	売上件数 売上金額 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額減算
	200000	すべて	74 86 97	売上取消/返品件数 売上取消/返品金額 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額加算
1420&1430 (元要求が 1200番台)	000000	すべて	75 87 97	売上障害取消件数 売上障害取消金額 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額加算
	200000	すべて	77 89 97	売上取消/返品障害取消件数 売上取消/返品障害取消件数 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額減算
	000000 200000	すべて	90	オーソリ障害取消件数	件数加算
	310000 360000	すべて	82	照会障害取消件数	件数加算

表 1－3 被仕向側システム集計方法

MTI	プロセシング コード	アクション コード	対象センター項目		
			BIT	名称	操作
1110 1130	000000 200000	すべて	81	オーネリ件数	件数加算
1110 1130	310000 360000	すべて	80	照会件数	件数加算
1210 1230	000000	000	76 88 97	売上件数 売上金額 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額減算
		上記以外	76	売上件数	件数加算
1210 1230	200000	000	74 86 97	売上取消/返品件数 売上取消/返品金額 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額加算
		上記以外	74	売上取消/返品件数	件数加算
1430 (元要求が 1200番台)	000000	400	75 87 97	売上障害取消件数 売上障害取消金額 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額加算
		上記以外	75	売上取消/返品障害取消件数	件数加算
	200000	400	77 89 97	売上取消/返品障害取消件数 売上取消/返品障害取消金額 精査合計金額	件数加算 金額加算 金額減算
	上記以外	77	売上取消/返品障害取消件数	件数加算	
1430 (元要求が 1100番台)	000000 200000	すべて	90	オーネリ障害取消件数	件数加算
	310000 360000	すべて	82	照会障害取消件数	件数加算

注：被仕向側システム：仕向精査処理時はCARDNETセンターを示す。

被仕向精査処理時は被仕向センターを示す。

## 1. 3 J-Debitサポート仕様

ここでは、J-Debit固有の要件に対するCN手順での対応について定義する。

### 1. 3. 1 CAFIS電文データ部9-3-1対応

J-Debitで拡張されたCAFIS電文データ部9-3-1について、CN手順では以下の通り対応する。

#### 1. 通帳印字

加盟店センターからの仕向電文のBIT43（加盟店名/所在地）の上10桁をCAFIS要求電文データ部9-3-1の通帳印字（固定部）に、次の10桁をデータ部9-3-1の通帳印字（任意部）にセットする。

#### 2. 伝票印字

銀行コード、支店コード、口座番号、発行銀行名それぞれについて、CAFISからの報告電文データ部9-3-1内容をBIT59（端末出力データ）にセットする。

なお、これらの項目は、カードエンコード内容と一致するとは限らないため、伝票への印字や加盟店での管理には、BIT59（端末出力データ）の項目値を使用すること。

#### 3. クリアリング

##### ①発行銀行コード

CAFISからの報告電文データ部9-3-1内容をBIT59（端末出力データ）にセットする。

##### ②加盟店コード、加盟店サブコード

CARDNETセンターにてCAFIS要求電文データ部9-3-1にセットする。

またCAIFISからの報告電文データ部9-3-1内容（CAFIS、カード発行会社センターはCARDNETセンターの設定内容を保証）をBIT59（端末出力データ）にセットする。

#### 4. 利用可能金額

CAFISからの報告電文データ部9-3-1内容をBIT59（端末出力データ）にセットする。

### 1. 3. 2 日本デビットカード推進協議会指定スクランブル方式への対応

J-Debitの取扱においては、端末での日本デビットカード推進協議会指定のスクランブルが必要なため、加盟店センター側で下記の対応をとることとする。

#### 1. JIS II ストライプ情報読み込み時

入力暗証番号及びエンコード情報の暗証番号について、日本デビットカード推進協議会指定のスクランブル方式にてスクランブルを行い、さらにC N手順のセキュリティ制御仕様に従い暗号化を行う。

なお、端末での暗証番号入力を省略した場合には、入力暗証番号はALL"0"として取り扱う。

#### 2. JIS I ストライプ情報読み込み時

入力暗証番号について、C N手順のセキュリティ制御仕様に従い暗号化を行う。

※J-Debitの取扱においては、JIS I ストライプ情報読み込みはあり得ないため、上記2の対応はその他デビット取扱時の対応である。

## 第2章 その他の拡張

会員認証等、その他の付加サービスをサポートする場合、オプションとしてBIT62（個社別予約域）を使用する。

BIT62（個社別予約域）を使用する場合は、あらかじめ株式会社日本カードネットワークへ申請の上、タグ定義を行う必要がある。

CARDNETセンターはBIT62（個社別予約域）の内容の精査は行わない。

## 第3章 電文仕様の拡張

本章では、デビット取引電文のビットマップ定義と、追加情報が設定可能になり変更された業務電文について記述する。

各電文フィールドの拡張・追加定義については次章に記述する。

### 3. 1 バージョン管理

今回の拡張による各ヘッダーのヘッダータイプはそれぞれF1とA1のままとする。

従って、CN手順電文定義のバージョン管理は適用しない。

### 3. 2 電文定義追加分

以下に追加のビットマップ・パターンを定義する。

#### 3. 2. 1 デビット残高確認 <暗証番号入力あり> D100/D110

	属性	桁数 (バイト)	JIS1ストライプ° 読み取り時		JIS2ストライプ° 読み取り時	
			要求	応答	要求	応答
MTI	JIS8	n4	4	1100 1110	1100 1110	
ビットマップ°(ストライプ)	b	b64	8	M M	M M	
BIT2 会員番号 3 プロセシングコード 4 取引金額 11 システムレスオーディットナンバー 12 現地取引日時	JIS8	n..19 LLVAR n6 n12 n6 n12 YYMMDDhhmmss	Max21 6 12 6 12	M ME M ME M M M ME M ME	M ME M ME M M M ME M ME	
18 商品コード 22 POSデータコード 24 ファンクションコード 25 メッセージ理由コード 26 加盟店業種コード		n4 an12 n3 n4 n4	4 12 3 4 4	M ME M ME M ME M M M M	M ME M M M M M M M M	
28 精査日 30 オリジナル金額 32 加盟店会社コード 35 JIS I 第2トラック情報 37 リトリーバルリファレンスナンバー		n6 YYMMDD n24 anp11 LLVAR ans..37 LLVAR anp12	6 24 13 Max39 12	M ME M ME M ME M M	M ME M ME M ME M M	
38 承認コード 39 アクションコード 41 加盟店端末番号 42 加盟店番号 47 JIS II トラック情報		anp6 n3 n8 anp15 ans69 LLLVAR	6 3 8 15 72	M M M M M M M M	M M M M M M M M	
48 国内レスポンスコード 49 取引通貨コード 52 入力暗証番号 53 セキュリティ関連制御情報 58 オーリ判定センターID	b JIS8	anp5 LLLVAR n3 b64 an14 LLVAR anp11 LLVAR	8 3 8 16 13	M ME M M M M	M ME M M M M	
59 端末出力データ 60 国内使用予約域 62 個社使用予約域	b	ans147 LLLVAR ans..40 LLLVAR b..121 LLLVAR	150 Max43 Max124	M 0	M 0	M 0

#### <項目設定条件補足>

0 : 設定は電文送信システムで任意。

注 : 各項目の属性はCARDNET接続条件書(ダイレクト接続編) 3. 4 「データコード」、3. 5 「表記方法」を参照のこと。

## 3. 2. 2 デビット売上 &lt;暗証番号入力あり&gt; D200/D210

	属性	桁数 (バイト)	JIS1ストライプ 読み取り時		JIS2ストライプ 読み取り時	
			要求	応答	要求	応答
MTI	JIS8 n4	4	1200	1210	1200	1210
ビットマップ(フライマリ)	b b64	8	M	M	M	M
BIT2 3 プロセシングコード 4 取引金額 11 システムトレースオーディットナンバー 12 現地取引日時	JIS8 n..19 LLVAR n6 n12 n6 n12 YYMMDDhhmmss	Max21 6 12 6 12	M M M M M	ME ME M ME ME	M M M M M	ME ME M ME ME
17 収集日 18 商品コード 22 POSデータコード 24 ファンクションコード 25 メッセージ理由コード	n4 MMDD n4 an12 n3 n4	4 4 12 3 4	M M M M M	ME ME ME M ME	M M M M ME	ME ME M M ME
26 加盟店業種コード 28 精査日 30 オリジナル金額 32 加盟店会社コード 35 JIS I 第2トラック情報	n4 YYMMDD n6 n24 anp11 LLVAR ans..37 LLVAR	4 6 24 13 Max39	M M M M M	M ME ME ME ME	M M M M ME	M M M M ME
37 リトリーバルリファレンスナンバー 38 承認コード 39 アクションコード 41 加盟店端末番号 42 加盟店番号	anp12 anp6 n3 n8 anp15	12 6 3 8 15	M M M M M	M M M M M	M M M M M	M M M M M
43 加盟店名/所在地 47 JIS II トラック情報 48 国内レスポンスコード 49 取引通貨コード 52 入力暗証番号	anp40(注2) LLVAR ans69 LLLVAR anp5 LLLVAR n3 b64	42 72 8 3 8	M M M M M	M ME ME M M	M M M M ME	M M M M ME
53 セキュリティ関連制御情報 58 オーリ判定センターID 59 端末出力データ 60 国内使用予約域 62 個社使用予約域	JIS8 an14 LLVAR anp11 LLVAR ans147 LLLVAR ans..40 LLLVAR b..121 LLLVAR	16 13 150 Max43 Max124	M M M M 0	M M M M 0	M M M M 0	M M M M 0

## &lt;項目設定条件補足&gt;

0 : 設定は電文送信システムで任意。

注1 : 各項目の属性はCARDNET接続条件書(ダイレクト接続編)3.4「データコード」、3.5「表記方法」を参照のこと。

注2 : デビット取引の場合に限り、加盟店名／所在地(BIT43)の属性はanpではない。  
設定可能な値については本書4.3.7を参照。

## 3. 2. 3 障害取消アドバイス&lt;対デビット残高確認&gt;D420,D421/D430

		属性		桁数 (バイト)	JIS1ストライプ 読み取り時		JIS2ストライプ 読み取り時	
		要求	応答		要求	応答	要求	応答
MTI	JIS8	n4		4	1420 1421	1430 1421	1420	1430
ビットマップ（フライマリ）	b	b64		8	M M	M M	M M	M M
BIT2 会員番号 3 フロセシングコード 4 取引金額 11 システムトレースオーティットナンバー 12 現地取引日時	JIS8	n..19 n6 n12 n6 n12 YYMMDDhhmmss	LLVAR	Max21 6 12 6 12	MS MS M M M	ME ME M ME ME	MS MS M M M	ME ME M ME ME
24 ファンクションコード 25 メッセージ理由コード 28 精査日 30 オリジナル金額 32 加盟店会社コード		n3 n4 n6 n24 anp11	YYMMDD LLVAR	3 4 6 24 13	M M M MS MS	ME ME ME ME ME	M M M MS MS	ME ME ME ME ME
35 JIS I 第2トラック情報 38 承認コード 39 アクションコード 41 加盟店端末番号 42 加盟店番号		ans..37 anp6 n3 n8 anp15	LLVAR	Max39 6 3 8 15	MS M M MS MS		M M MS MS	M M
47 JIS II トラック情報 48 国内レスポンスコード 49 取引通貨コード 56 オリジナルデータメント 60 国内使用予約域		ans69 anp5 n3 an35 ans..40	LLLVAR LLLVAR LLLVAR LLVAR LLLVAR	72 8 3 37 Max43		M MS M M MS	MS MS M M MS	M M

注：各項目の属性はCARDNET接続条件書（ダイレクト接続編）3. 4「データコード」、3. 5「表記方法」を参照のこと。

## 3. 2. 4 障害取消アドバイス&lt;対デビット売上&gt;D420,D421/D430

	属性	桁数 (バイト)	JIS1ストライプ 読み取り時		JIS2ストライプ 読み取り時	
			要求	応答	要求	応答
MTI	JIS8 n4	4	1420 1421	1430 1421	1420 1421	1430 1421
ビットマップ(ストライプ)	b b64	8	M M	M M	M M	M M
BIT2 会員番号 3 プロセシングコード 4 取引金額 11 システムトレースオーティットナンバー 12 現地取引日時	JIS8 n..19 LLVAR n6 n12 n6 n12 YYMMDDhhmmss	Max21 6 12 6 12	MS MS M M M	ME ME M ME ME	MS MS M M M	ME ME M ME ME
24 ファンクションコード 25 メッセージ理由コード 28 精査日 30 オリジナル金額 32 加盟店会社コード	n3 n4 n6 YYMMDD n24 anp11 LLVAR	3 4 6 24 13	M M M MS MS	ME ME ME ME ME	M M M MS MS	ME ME ME ME ME
35 JIS I 第2トラック情報 38 承認コード 39 アクションコード 41 加盟店端末番号 42 加盟店番号	ans..37 LLVAR anp6 n3 n8 anp15	Max39 6 3 8 15	MS M M MS MS		M MS MS MS	M M
43 加盟店名／所在地 47 JIS II トラック情報 48 国内レスポンスコード 49 取引通貨コード 56 オリジナルデータエメント	anp40(注2) LLVAR ans69 LLLVAR anp5 LLLVAR n3 an35 LLVAR	42 72 8 3 37	MS MS M MS M		MS MS M MS M	MS MS M MS M
60 国内使用予約域	ans..40 LLLVAR	Max43	MS		MS	MS

注1：各項目の属性はCARDNET接続条件書（ダイレクト接続編）3.4「データコード」、3.5「表記方法」を参照のこと。

注2：デビット取引の場合に限り、加盟店名／所在地（BIT43）の属性はanpではない。設定可能な値については本書4.3.7を参照。

## 第4章 電文項目拡張

本章では、デビット取引において変更・追加された電文フィールドについてのみ記述する。

### 4. 1 共通制御ヘッダー

共通制御ヘッダーでは、以下のフィールド定義が拡張される。

1. 差出センターID
- 2.宛先センターID
- 3.加盟店契約会社コード

#### 4. 1. 1 差出センターID

##### ① データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
差出センターID	電文送信元センターID	JIS8, anp11, 11バイト

##### ② 本手順での規定

###### センター間取引

要求電文送信時に仕向センターIDが設定される。応答電文送信時に被仕向センターIDが設定される。会社コード7桁 +サブコード4桁の合計11桁で構成される。

###### オンライン端末取引

要求電文送信時に“3J021000000”がセットされる。応答電文送信時は、被仕向センターIDが設定される。会社コード7桁+サブコード4桁の合計11桁で構成される。

デビット取引電文（カードネット電文種別DXXX）のCARDNETセンターから仕向センターへの応答電文送信時には、デビット決済網のセンターIDを設定する。

デビット決済網	センターID
J-Debit	9D900000000

#### 4. 1. 2 宛先センターID

##### ① データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
宛先センターID	電文送信先センターID	JIS8, anp11, 11バイト

##### ② 本手順での規定

要求電文送信時に被仕向センターIDが設定される。応答電文送信時に仕向センターIDが設定される。会社コード7桁+サブコード4桁の合計11桁で構成される。

デビット取引電文（カードネット電文種別DXXX）の要求電文送信時には、“3J021000000”（CARDNETセンターID）を設定する。

#### 4. 1. 3 加盟店契約会社コード

##### ① データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
加盟店契約会社コード	加盟店契約カード会社コード	JIS8, anp11, 11桁

##### ② 本手順での規定

加盟店が支払契約をしているカード会社を識別するコードが設定される。会社コード7桁 + サブコード4桁の合計11桁で構成される。

デビット取引電文（カードネット電文種別DXXX）の要求電文送信時には、“3J021000000”（CARDNETセンターID）を設定する。

デビット取引電文（カードネット電文種別DXXX）のCARDNETセンターから被仕向センターへの要求電文送信時、被仕向センターからCARDNETセンターへの応答電文送信時、およびCARDNETセンターから仕向センターへの応答電文送信時には、デビット決済網のセンターIDを設定する。

デビット決済網	会社コード
J-Debit	9D900000000

## 4. 2 業務共通ヘッダー

業務共通ヘッダーでは、以下のフィールド定義が拡張される。

1. 電文種別コード
2. 仕向区分

### 4. 2. 1 電文種別コード

#### ① データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
電文種別コード	CN手順の電文識別情報	JIS8, an4, 4バイト

#### ② 本手順での規定

電文種別を識別するコード。上1桁目の“C”、“D”、“E”は、CN手順で規定した電文を示す。

“C”は通常電文、“E”は障害電文通知を表す。また、“D”はデビット取引電文を表す。

表 4－1 電文種別コード一覧

コード値	内容		
C522	オンライン一括精査	仕向精査	要求
C532		被仕向精査	応答
C520	汎用通知	カットオーバー依頼	要求
C530		障害電文通知	応答
C644	ネットワーク制御	カットオーバー依頼	通知
E644		障害電文通知	
C804	デビット残高確認		要求
C814			応答
D100	デビット売上		要求
D110			応答
D200	デビット障害取消アドバイス		要求
D210			応答
D420 (D421)	デビット障害取消アドバイス		要求
D430			応答

#### 4. 2. 2 仕向区分

##### ① データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
仕向区分	電文送信元センターの接続形態	BCD, n2, 1バイト

##### ② 本手順での規定

デビット取引電文（カードネット電文種別DXXX）を送信する場合は、下記の通りとする。

###### コード値

- 11 : オンライン端末取引  
21 : センター間取引

#### 4. 3 BODY部

BODY部では、以下のフィールド定義が拡張・追加される。

- ・ MTI
- ・ BIT2 会員番号
- ・ BIT3 プロセシングコード
- ・ BIT22 POSデータコード
- ・ BIT24 ファンクションコード
- ・ BIT37 リトリーバルリファレンスナンバー
- ・ BIT43 加盟店名／所在地
- ・ BIT52 入力暗証番号
- ・ BIT59 端末出力データ
- ・ BIT60 国内使用予約域
- ・ BIT62 個社使用予約域

#### 4. 3. 1 MTI(Message Type ID)

##### ① データ定義

データ項目名	内容	属性／桁数
MTI	ISO8583の電文識別情報	JIS8, n4, 4バイト

##### ② 本手順での規定

ISO8583（93年度版）に準拠した電文種別を識別するコードが設定される。

表4－1 MTI一覧（デビット電文）

コード値	内容		コード値	内容		
1100	デビット 残高確認	要求	1522	オンライン 精査	仕向精査	要求
1110		応答	1532			応答
1200	デビット売上	要求	1520		被仕向精査	要求
1210		応答	1530			応答
1420(1421)	デビット 障害取消 アドバイス	要求	1644	汎用通知	カットオーバー依頼	通知
1430		応答	1644		障害電文通知	
			1804	ネットワーク制御		要求
			1814			応答

#### 4. 3. 2 BIT2 : 会員番号

##### ① データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
2	会員番号 (口座番号)	カード番号	JIS8, n..19 Max21バイト, LLVAR

##### ② 本手順での規定

###### a) JIS I ストライプ読み込み時

JIS I 第2トラック情報 (BIT35) のデータ部先頭バイトから分離符号の前まで最大19バイトを会員番号として設定する。

JIS I 国内フォーマット (データ部の先頭バイトから"9392"で始まるカードフォーマット) の場合も、同様に設定する。

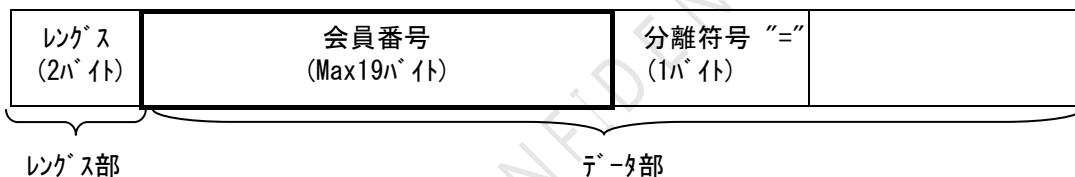


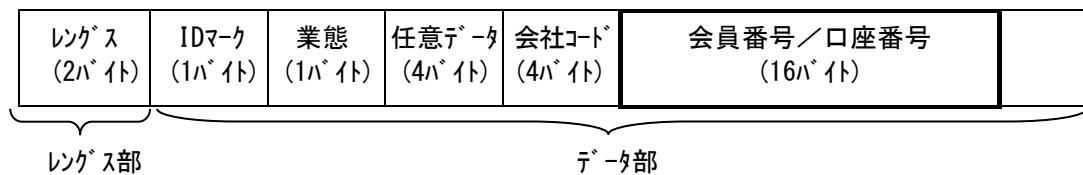
図 4-1 JIS I 第2トラック情報 (BIT35)

###### b) JIS II ストライプ読み込み時

JIS II トラック情報 (BIT47) のデータ部11桁目から26桁目までの合計16バイトを会員番号として設定する。

ただし、会員番号エリアにスペースが存在する場合には、最初の数字から連続した最後の数字までの最大16バイトを会員番号として設定する。

また、デビット取引の場合に限り、郵貯共用カードでは、JIS II トラック情報 (BIT47) のデータ部51桁目から66桁目までの合計16バイトを会員番号として設定する。



<デビット取引における郵貯共用カード>

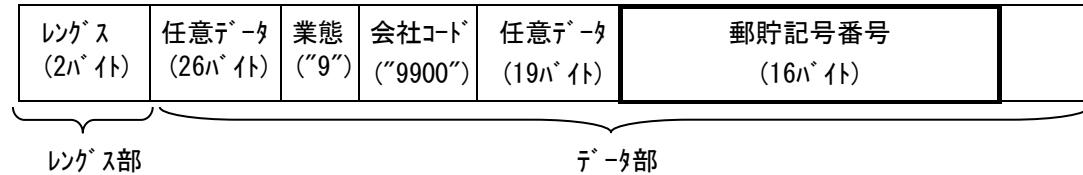


図 4-2 JIS II トラック情報 (BIT47)

#### 4. 3. 3 BIT3 : プロセシングコード

##### ① データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
3	プロセシングコード	取消／返品識別コード	JIS8, n6, 6バイト

##### ② 本手順での規定

オーソリ、売上、障害取消業務において取消／返品の識別を示す。CN手順では、以下に示すコード値のみを有効とする。

障害取消業務においては、取消対象の元取引（オリジナル）と同一コードを設定する。

表 4－2 プロセシングコード一覧（デビット電文）

MTI	オンライン業務	コード値	MTI	取消対象 MTI	取消対象 オンライン業務	コード値
11XX	デビット残高確認	310000	14XX	11XX	デビット残高確認	310000
12XX	デビット売上	000000		12XX	デビット売上	000000
	デビット売上取消	200000			デビット売上取消	200000

#### 4. 3. 4 BIT22 : POSデータコード

##### ① データ定義

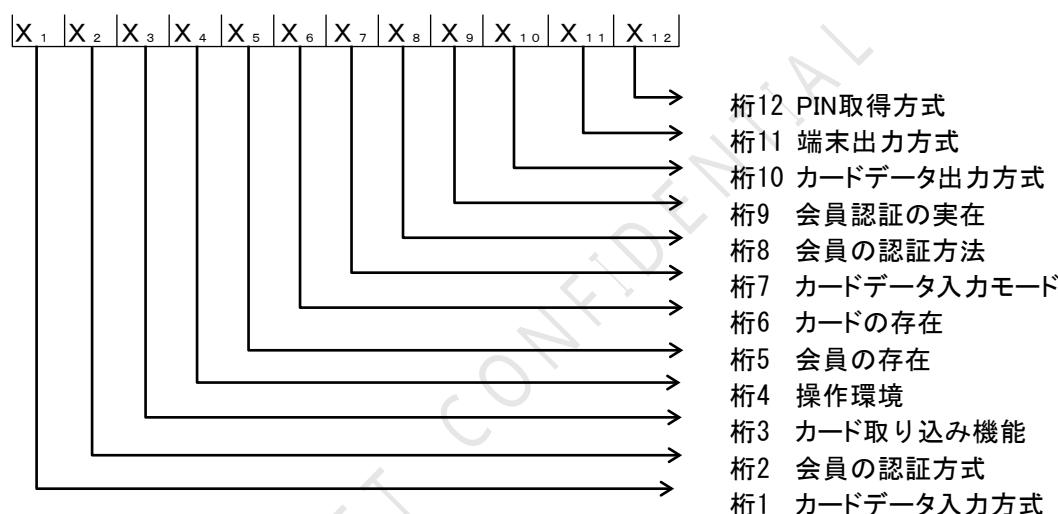
BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
22	POSデータコード	カード区分、PIN入力有無	JIS8, an12, 12バイト

##### ② 本手順での規定

カード入力種別、およびPIN入力有無を識別するコードが設定される。

表 4-3 POS データコード一覧

コード値



##### 桁1 カードデータ入力方式

<コード>	<説明>
0	未定義
1	マニュアル入力
2	磁気ストライプ
3	バーコード
4	OCR
5	ICカード
6	キーボード入力
7～9	未使用
A～X	未使用
Y	EC
Z	未使用

##### 桁2 会員の認証方式

<コード>	<説明>
0	認証なし
1	PIN
2	電気的なサイン確認
3	声紋／指紋等による確認
4	筆跡
5	認証未稼動
6	その他
7～Z	未使用

## 桁3 カード取り込み機能

<コード>	<説明>	
0	: なし	※ オンライン端末取引は、“0” 固定
1	: 取り込み	
2 ~ Z	: 未使用	

## 桁4 操作環境

<コード>	<説明>	
0	: 端末未使用	
1	: 店内／有人	
2	: 店内／無人	
3	: 店外／有人	
4	: 店外／無人	
5	: 会員／無人	
6 ~ 8	: 未使用	
9	: 個社使用予約域	※ オンライン端末取引は、“9” 固定
A ~ Z	: 未使用	

## 桁5 会員の存在

<コード>	<説明>	
0	: 対面販売	
1	: 非対面販売（不特定）	
2	: 非対面販売（メールオーダー）	
3	: 非対面販売（電話）	
4	: 非対面販売（継続的なオーソリ）	
5 ~ 8	: 未使用	
9	: 個社使用予約域	※ オンライン端末取引は、“9” 固定
A ~ Z	: 未使用	

## 桁6 カードの存在

<コード>	<説明>	
0	: カード無し	
1	: カード有り	
2 ~ 8	: 未使用	
9	: 個社使用予約域	※ オンライン端末取引は、“9” 固定
A ~ Z	: 未使用	

## 桁7 カードデータ入力モード

<コード>	<説明>	
0	: 未規定	
1	: マニュアル入力	
2	: 磁気カードストライプ読込	※ オンライン端末取引は、“2”または“6”を使用
3	: バーコード	
4	: OCR	
5	: ICカード	
6	: キーボード入力（オンライン端末取引のマニュアル入力）	
7 ~ X	: 未使用	
Y	: EC	
Z	: 磁気ストライプ、変換処理適用	

## 桁8 会員の認証方式

<コード>	<説明>	
0	: 認証なし（オンライン端末取引のサイレンス）	
1	: PIN	※ オンライン端末取引は、
2	: 電気的なサイン確認	“0”または“1”または“5”を使用
3	: 声紋／指紋等による確認	
4	: 筆跡	
5	: 目視によるサイン確認	
6	: その他の確認	
7 ~ Z	: 未使用	

## 桁9 会員認証の実在

<コード>	<説明>	
0	: 認証なし	
1	: ICカード	
2	: CAD	
3	: オーソリエージェント	
4	: 小売商による	
5	: その他	
6～8	: 未使用	
9	: 個社使用予約域	※ オンライン端末取引は、“9”固定
A～Z	: 未使用	

## 桁10 カードデータ出力方式

<コード>	<説明>	
0	: 未定義	
1	: なし	
2	: 磁気ストライプの書込	
3	: ICカード	
4～8	: 未使用	
9	: 個社使用予約域	※ オンライン端末取引は、“9”固定
A～Z	: 未使用	

## 桁11 端末出力方式

<コード>	<説明>	
0	: 未定義	
1	: なし	
2	: 印刷	
3	: 表示（プリンタなし）	※ オンライン端末取引は、“3”または“4”または“9”を使用
4	: 印刷と表示（スフカットプリンタ）	
5～8	: 未使用	
9	: ジャーナルプリンタ	
A～Z	: 未使用	

## 桁12 PIN取得方式

<コード>	<説明>	
0	: PIN取得なし	
1	: PIN取得不明	
2～3	: 未使用	
4～C	: 暗証桁数	※ オンライン端末取引は、“0”または“4～C”を使用
D～Z	: 未使用	

#### 4. 3. 5 BIT24 : ファンクションコード

##### ① データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
24	ファンクションコード	業務識別情報	JIS8, n3, 3バイト

##### ② 本手順での規定

オーソリ、売上、障害取消業務においてオンライン業務の識別を示す。CN手順では、以下に示すコード値のみを有効とする。

表4-4 ファンクションコード一覧（デビット電文）

MTI	オンライン業務	コード値	MTI	オンライン業務	コード値
11XX	デビット残高確認	108	15XX	オンライン精査	500
12XX	デビット売上 デビット売上取消	200 200	16XX	障害電文通知 カットオーバー依頼	650 821
14XX	障害取消	400	18XX	開局 閉局 キー交換 カットオーバー エコーテスト	801 802 811 821 831

#### 4. 3. 6 BIT37 : リトリーバルリファレンスナンバー

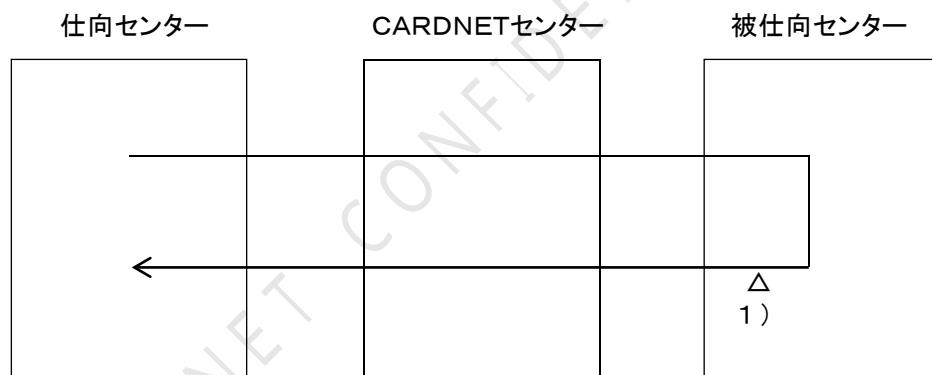
##### ① データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
37	リトリーバルリファレンス ナンバー	被仕向センターの処理通番	JIS8, anp12, 12バイト

##### ② 本手順での規定

オーソリゼーションの判定を行った会社（BIT58オーソリ判定会社コード）が処理通番として設定する。

オンラインで取引照会キーの1項目として使用する為、一定時間内の取引中でユニークに採番する。



1) オーソリゼーションの判定を行った会社が処理通番として設定

図 4-3 リトリーバルリファレンスナンバー採番箇所

J-Debit取扱時には、上位6桁にCAFIS報告電文共通制御ヘッダ部“CAFIS処理通番”を、下位6桁にカードネット取引通番の下6桁を設定する。

#### 4. 3. 7 BIT43 : 加盟店名／所在地

##### ① データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
43	加盟店名／所在地	加盟店名と所在地	JIS8, anp40 注1 42バイト, LLVAR

##### ② 本手順での規定

加盟店名、所在都市名を設定する。以下のサブフィールドで構成される。

表 4-5 サブフィールド構成

サブフィールド	加盟店名 "anp23" 注1	所在都市名 "anp14"	国コード "n3"
センター間取引	加盟店名(左詰、余りスペース) 例) ABC SUPER SUGITA TEN	所在都市名(左詰、余りスペース) 例) YOKOHAMA	392(固定)
CCT取引	加盟店名(左詰、余りスペース) 例) ABC SUPER SUGITA TEN	所在都市名(左詰、余りスペース) 例) YOKOHAMA	392(固定)

23バイト                    14バイト                    3バイト

デビット取引電文では、本フィールドの先頭10バイトが通帳印字固定部フィールド、次の10バイトが通帳印字任意部フィールドとして扱われる。

注1：サブフィールド「加盟店名」は属性anpであるが、デビット取引の場合に限り、以下に示す文字コード表の太枠内の文字を使用する。

表 4-6 文字コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0		P							タ	ミ		
1				1	A	Q							ア	チ	ム	
2				2	B	R					「	イ	ツ	メ		
3				3	C	S				」	ウ	テ	モ			
4			\$	4	D	T						エ	ト	ヤ		
5				5	E	U					オ	ナ	ユ			
6				6	F	V				ヲ	カ	ニ	ヨ			
7				7	G	W					キ	ヌ	ラ			
8			(	8	H	X					ク	ネ	リ			
9			)	9	I	Y					ケ	ノ	ル			
A		*			J	Z					コ	ハ	レ			
B		+			K						サ	ヒ	ロ			
C		.			L	¥					シ	フ	ワ			
D		-			M						ス	ヘ	ン			
E		.			N						セ	ホ	゛			
F		/			O						ソ	マ	。			

#### 4. 3. 8 BIT52 : 入力暗証番号

##### ① データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
52	入力暗証番号	暗号化した暗証番号ブロック	b64, 8バイト

##### ② 本手順での規定

暗証番号入力有りの電文において、PIN暗号化キー(KPE)で暗号化されたISO 0 PIN BLOCKが設定される。

デビットカードの取扱においてJIS IIを読み取った場合には、日本デビットカード推進協議会指定のスクランブルが必要であるが、その場合にも同スクランブルを行った暗証番号について必ずISO 0 PIN BLOCKを作成し、PIN暗号化キー(KPE)にて暗号化して設定する。

#### 4. 3. 9 BIT59 : 端末出力データ

##### ① データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
59	端末出力データ	端末の表示用テキスト	JIS8, ans147 150バイト, LLLVAR

##### ② 本手順での規定

応答電文で端末の出力テキストを設定する。

デビット取引電文においては、表 4-7 のサブフィールドで構成される。

表 4-7 サブフィールド構成

サブフィールド	属性／桁数	備考	
デビット種別	ans11	11バイト	デビット決済網のセンターID
通帳印字・固定部	ans10	10バイト	加盟店名等。発行金融機関が通帳に印字した内容。（左詰残りスペース）
同固定部予備	ans10	10バイト	
通帳印字・任意部	ans10	10バイト	店舗名、支店名等。発行金融機関が通帳に印字した内容。（左詰残りスペース）
同任意部予備	ans10	10バイト	
銀行コード	ans4	4バイト	
支店コード	ans4	4バイト	
口座番号	ans14	14バイト	(左詰残りスペース)
発行銀行名	ans10	10バイト	(左詰残りスペース)
予備	ans10	10バイト	
発行銀行コード	ans4	4バイト	
加盟店コード	ans7	7バイト	J-Debitのクリアリングデータ作成単位
加盟店サブコード	ans4	4バイト	J-Debitのクリアリングデータ作成単位
予備	ans4	4バイト	
利用可能金額	ans14	14バイト	
予備	ans10	10バイト	
引落日	ans4	4バイト	利用者の口座からの引落日 (MMDD)
センタ識別番号	ans2	2バイト	
予備	ans5	5バイト	

## (1) J-Debit取扱時

J-Debit取扱時のサブフィールドは表4-8の通り設定される。

表4-8 サブフィールド設定方法(J-Debit)

サブフィールド	設定内容
デビット種別	デビット決済網のセンターID。“9D900000000”固定。
通帳印字・固定部	CAFIS報告電文データ部9-3-1の同項目内容 (仕向元要求電文の加盟店／所在地(BIT43)フィールド上位10文字をCAFISへの要求電文送信時にCARDNETセンターが設定し、CAFIS、被仕向センターは内容を保証)(注)
同固定部予備	スペース
通帳印字・任意部	CAFIS報告電文データ部9-3-1の同項目内容 (仕向元要求電文の加盟店／所在地(BIT43)フィールド11桁目からの10文字をCAFISへの要求電文送信時にCARDNETセンターが設定し、CAFIS、被仕向センターは内容を保証)(注)
同任意部予備	スペース
銀行コード	CAFIS報告電文データ部9-3-1の同項目内容
支店コード	CAFIS報告電文データ部9-3-1の同項目内容
口座番号	CAFIS報告電文データ部9-3-1の同項目内容
発行銀行名	CAFIS報告電文データ部9-3-1の同項目内容
予備	スペース
発行銀行コード	CAFIS報告電文データ部9-3-1の同項目内容
加盟店コード	CAFIS報告電文データ部9-3-1の同項目内容 (CAFISへの要求電文送信時にCARDNETセンターが設定し、CAFIS、被仕向センターは内容を保証)
加盟店サブコード	CAFIS報告電文データ部9-3-1の同項目内容 (CAFISへの要求電文送信時にCARDNETセンターが設定し、CAFIS、被仕向センターは内容を保証)
予備	ALL“0”
利用可能金額	CAFIS報告電文データ部9-3-1の同項目内容
予備	ALL“0”
引落日	CAFIS報告電文共通制御ヘッダ部“CAFIS処理月日”をセット
センタ識別番号	CAFIS報告電文共通制御ヘッダ部“センタ識別番号”をセット
予備	スペース

注：BIT43の上位10文字にスペースが設定されている場合、通帳印字・固定部及び任意部にはCARDNETセンターに登録されている固定部又は任意部の情報を設定する。

CARDNETセンターに固定部及び任意部の情報が登録されていない場合、固定部、任意部それぞれに“デビットヨウ”及び“スペース”を設定する。

**4. 3. 10 BIT60:国内使用予約域****① データ定義**

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
60	国内使用予約域	国内カード業務をサポートする 為の必須項目を設定	JIS8, ans..40 Max43バイト, LLLVAR

② 本手順での規定

デビット取扱時の国内使用予約域のサブフィールド構成を表4-9に、支払区分毎の支払方法サブフィールド形式を図4-4に示す。

表4-9 サブフィールド構成

サブフィールド	内容	属性/桁数	
端末識別番号	加盟店の端末識別番号 センター間取引 原則として、6桁目～13桁目は、加盟店端末番号（BIT41）と同一値を設定する。但し、加盟店で設定不可の場合は、カード会社と協議の上、体系を決定するものとする。 オンライン端末取引 設置カード会社が採番した、端末識別番号13桁が設定される。	n13	13バイト
端末処理通番	端末の処理通番	n5	5バイト
支払区分	支払区分：支払方法の指定 デビット売上、および取消時は、一括：“10”を設定する。 残高確認時は、ALL“0”（“00”）を設定する。	n2	2バイト
税/その他	取扱金額中の税・その他の金額 デビット取扱時は、0円を設定する。	n7	7バイト
取消/返品区分	取消/返品業務の識別区分 取消：“1”のみ設定可能 取消以外の業務は、スペースを設定する。	anp1	1バイト
承認番号	承認後売上業務（取消／返品含む）の事前承認番号 デビット取扱時は、スペースを設定する。	anp6	6バイト
伝票番号	取消業務の売上伝票番号（元取引の端末処理通番） 取消以外の業務は、スペースを設定する。	anp5	5バイト
支払方法	支払の方法（支払区分により決定） 取消、残高確認業務は、サブフィールドの設定無し（=Min0バイト）。 データ識別、セパレータは、サブフィールド形式で定義する固定値を設定する。	ans ..1	Max1バイト (Min0バイト)

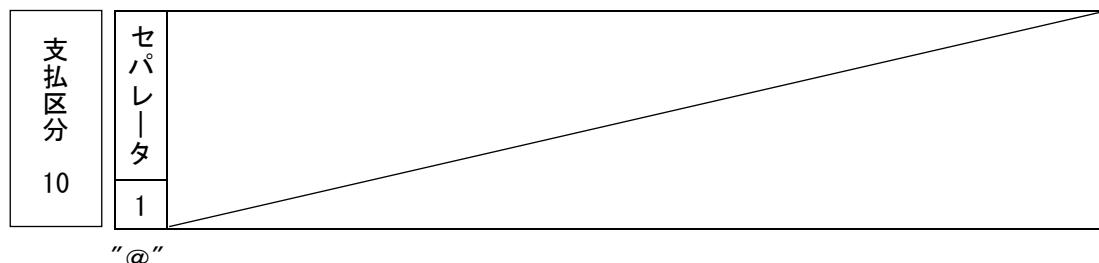


図4-4 支払方法サブフィールド形式

#### 4. 3. 1 1 BIT62 : 個社使用予約域

##### ① データ定義

BIT	データ項目名	内容	属性／桁数
62	個社使用予約域	ISO8583標準外業務をサポートするための情報伝達域	b..121 Max124バイト, LLLVAR

##### ② 本手順での規定

このフィールドはクレジット取引、デビット取引において各ブランド固有のサービスをサポートするためのデータを含むものとする。

##### <フォーマット>

付加データはTLV形式(タグ、長さ、値)で連続して記述される。BIT62全体のフィールド長は各付加データのタグ・長さ・値の全体を合計した長さが入る。

026	J01	012	XXXXXXXXXXXX	J02	002	00
-----	-----	-----	--------------	-----	-----	----

フィールド長	タグ	長さ	↑ 値	タグ	長さ	↑ 値
3バイト	3バイト	3バイト	12バイト	3バイト	3バイト	2バイト
サブフィールド J01				サブフィールド J02		

##### <補足説明>

CARDNETセンターでは、このフィールド内容は接続先から他方の接続先へ透過させるだけで、内容のフォーマット検査は行わない。

## 第5章 各種識別仕様

本章では、デビット取引において追加・変更されたエラーコード設定基準についてのみ記述する。

### 5. 1 エラーコード設定基準

エラーコード設定基準においては、国内レスポンスコードの設定基準が拡張される。

#### 5. 1. 1 国内レスポンスコード設定基準

国内レスポンスコードの内、被仕向センターのエラーコードであるGXXについて、デビット取引における定義を表5-1に示す。

なお、GXXの内容はクレジット取引とデビット取引で異なるため、仕向センターにて取引に応じた対応が必要である。

表5-1 国内レスポンスコード一覧 (GXX)  
～被仕向センター設定分（デビット取引時）

項目番号	コード値	内容
被仕向センターが設定するエラーコード。設定基準は各センターにて任意とする。		
1	スペース	許可
2	G06	残高不足
3	G07	限度額オーバー
4	G42	暗証番号エラー
5	G43	誤入力許容回数オーバー(暗証番号の誤入力回数が規定値を超えた場合)
6	G60	事故カード、口振カード利用停止口座
7	G65	口座番号エラー
8	G68	金額エラー
9	G77	業務区分エラー
10	G78	支払区分エラー
11	G80	取消区分エラー
12	G81	取扱区分・取引区分エラー
13	G83	有効期限エラー
14	G85	利用口座エラー
15	G91	システム障害中
16	G94	取消対象電文なし

表5－1 国内レスポンスコード一覧（GXX）  
～被仕向センター設定分（デビット取引時）（続き）

項目番号	コード値	内容
被仕向センターが設定するエラーコード。設定基準は各センターにて任意とする。		
17	G95	当該業務オンライン終了
18	G97	当該要求拒否
19	G98	対象業務エラー
20	G99	接続要求受付拒否

CARDNET接続条件書（ダイレクト接続編）別冊 デビットカード拡張仕様 <第1.3版>

2020年3月

株式会社日本カードネットワーク

Copyright (C) 2020. 3

複写・無断転用厳禁

株式会社日本カードネットワーク